

～下記の研究を行います～

『地域事業所に対するアンケートを用いた災害時の医療・行政・介護・福祉の連携に関する調査研究』

【研究の主宰機関】独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 救命救急センター

【研究代表者】石田健一郎

【研究の目的】本研究では、過去に実施した医療・行政・介護・福祉などの多様な事業所を対象とした防災アンケートをもとに、災害拠点病院や行政に対して各事業所がどのような支援や連携を期待しているのかを明らかにすることで、平時からの連携体制の在り方を再構築する一助とすることを目的とする。特に、現場の実情やニーズを把握し、機能的な地域防災ネットワークの構築に資する知見を提供することを目指す。

【研究の期間】研究許可日～2026 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる方

2023 年 10 月から 2023 年 12 月 15 日にかけて当院で実施した地域事業所の防災計画に関するアンケートに回答いただいた方

●利用する試料・情報の種類

試料：

なし

情報：アンケート結果から以下の情報を収集します。

各事業所の防災計画の策定状況、訓練の実施状況、他機関への連携に期待する内容等

【情報等収集開始日】2025 年 10 月 27 日

●外部への情報等の提供

個々のアンケート結果は外部に提供することはありませんが解析したデータは関西学院大学及び国立健康危機管理研究機構へ提供します。

【情報等の管理責任者の氏名又は名称】

国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

関西学院大学 人間福祉学部 平井亜里砂

国立健康危機管理研究機構 危機管理・運営局 DMAT 事務局 若井聡智

②既存の情報等の提供のみを行う機関

なし

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反についてはそれぞれの機関の利益相反審査委員会で審査され、適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

研究責任者

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

救命救急センター 医長 石田健一郎

研究代表者

救命救急センター 医長 石田健一郎